

●元気高齢者の人材活用について（地域の高齢者を介護人材として活かす可能性・方策等）、どのようにお考えですか。

NO	回答内容
1	板橋のごいっしょサービスのよう、お話し相手や散歩のつきそいなどは？
2	介護保険の意見書も地域包括から取り寄せたい。 支援費の方はやはり窓口を設けてサポートしてほしい。
3	資格が必要なので、誰でもよいとは言えない。
4	高齢者は同じ高齢者に介護されるのを極端に嫌う傾向あり。介護人材として活かしたいと思うが、受け入れられるかが疑問。
5	<p>シルバー人材として常勤換算0.3程度の賃金で雇用の窓口を広げる。（現場としては実際、足手まといや、口うるさいだけと思われることが多い）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイバスの運転・添乗 ・デイルームでのボランティア的な接遇 ・特技のレク指導 ・シーツ交換・掃除・洗い物・草むしり・窓磨き等
6	基本的にムリです。家事支援など可能な部分はあるかもしれないけれど。やはり年齢は年齢です。外から華やいだ風が来るのも在宅利用者にとっては大切です。
7	<p>最初に指導を受けてからお話ボランティアを施設や通所でしていただき、あるいは敬老館などで1対1の話し相手になっていただく。特に難聴の人は通所にきたものの取り残されていることが結構たくさんある筆談でしか会話できない人は更に。全盲の人も通所にすれば話し掛けてくれる人がいればもう少し利用してみようかという気になるかも。</p> <p>在宅独居の方の話し相手は慎重に選ばないといけないが誰かが話にきてくれるのを待っている人はたくさんいる。介護保険ではできないけど一緒に食事をしてくれる人、一緒にコーヒーを飲んでくれる人、喫茶店に一緒に行ってくれる人 図書館から本を借りてきてくれる人、趣味のコンサートに一緒に行ってくれる人、趣味、特技の登録をして同じ趣味を週1回語り合う人を選ぶお見合いパーティー的な催しもいいのでは。</p> <p>簡単な確定申告をいっしょにやってくれる人、新聞や本を読んでもくれる人、介護の経験を話にきてくれる人、身体介護はしないけど銭湯に一緒に行ってくれる人、理髪店や美容院に付き添ってくれる人、狭い範囲でたくさん拠点を作り地域版ユニットケア的な発想で。毎回の生協の申込書を書いてくれる人、ポイントを溜めて次自分や家族がサービスを使えるという案はいいですね。</p> <p>商店街もそのサービスに加わってくれればさらにいいけど。どこの商店街だと配達してくれるとか電話注文で配達してくれるとか生活の知恵を情報収集して探してくれるグループ活動とかしていただく人を派遣する派遣の仕方でもできるだけ希望を聞き、合わない人は簡単に断れる環境を確保すべき。依存度が上がりすぎてないか。精神的圧迫を受けてないか。効果のモニタリングもケアマネジメントとの一つとして機能できればいいのですが。</p>
8	話し相手としてはよいかもしれませんが。各人の個性が強く実情は難しいと思います。
9	高齢者の介護人材の活用は大変いいことだと思うが、可能性としては若い人も仕事が厳しいため離職率が高いのに、高齢者の方は体力的に厳しいのではないかと。

●元気高齢者の人材活用について（地域の高齢者を介護人材として活かす可能性・方策等）、どのようにお考えですか。

NO	回答内容
10	ボランティア等を区で講習等を行い、様々なサービスに活用して欲しい。
11	区が具体的な案を作成し、活動できる拠点作り、リーダーとなる方の輩出をする。
12	利用者さんは「話し相手」と「見守り」が必要です。しかし介護保険にはその様なサービスがありません。安否確認をしながら話し相手になって頂いたり、見守りをして下さる元気高齢者がいて下さったらありがたいと思います。その様なグループを作って頂けたらと思います。
13	介護保険で利用出来ない話し相手や独居者の安否確認をこの措置で活用する。
14	働き手と受け入れ側の意識改革が必要だと思います。元気高齢者の中にも働けるうちは働きたいと考えている方もいますが、実際には体力的なことを考え躊躇されている方や、事業者側が受け入れないというケースもあると聞いています。 地域ミーティングや交流の場で少しずつ理解していただくのもいいと思います。
15	コミュニケーション、ボランティア等。 地域友好のために集会所の開放。
16	広報をきちんとすれば、仕事として応募する人も多いと思います。ある程度までの介護技術講習を区がシルバー事業として行うのはいかがでしょうか。
17	現在、67才、70才の方に働いて頂いております。とても元気に介護をされています。これからも元気な方に（高齢者）来て頂ければと思います。
18	ボランティアではなく、時給を出してでも、近隣の利用者さんをみていただけないものか。「職業倫理をもって接する」
19	現在60才以上の方もたくさん活躍しております。
20	介護サービスの質を求めるのであれば不可能だと思います。量を求めるのであれば可能性は大きいと思います。
21	直接ではなくても、誕生日カードを作るボランティアなど関わりが持てるシステム。
22	今、元気な高齢者が在宅で時間をもてあましている事が多い。求人のシルバーセンターも3日に1回数時間の仕事しかなく、求職難との事です。ボランティア、老人施設での仕事は機会があれば可能ではないでしょうか。
23	生活援助のサービスに関しては長年の知識も必要とされる為、健康診断等で異常がなければ働ける現場はあると思われる。
24	私たちヘルパーは普段利用者と面と向かい話を聞いてあげる時間がない。利用者によってはヘルパーと話をする以外言葉を発しない人もいます。元気高齢者であっても、身体介護は負担が大きいと思われる為、話し相手や軽い家事援助であれば可能性はあると思われる。

●元気高齢者の人材活用について（地域の高齢者を介護人材として活かす可能性・方策等）、どのようにお考えですか。

NO	回答内容
25	介護保険の理解が出来れば可能。 シルバー人材の登録拡大。
26	デイサービスでのボランティア（有料ボランティアも含む）や、レクリエーションの際などの講師として活躍してもらえたらと思う。元気高齢者の方に生きがいややりがいを感じてもらえるのではないかな。
27	介護保険ではできないサービス。話し相手を必要とされる方が多いと思う。ただ「お元気な高齢者」をご自分と比較されて落ち込む方もいるのではないかな？希望される方には嬉しいサービスではないかな。
28	コミュニケーションスキルは高いと思えるので、保有する分野での指導などで貢献することは可能ではないでしょうか。
29	もしかして高齢者なら安く使えると考えているのですか？対応できる体力、人柄があればだいじょうぶだと思います。
30	一人暮らしの方に訪問してサービス提供していると、話し相手がほしい方が沢山いらっしゃいます。一人で外出できず、友達も近くにいない方々は、ヘルパーに話し相手を求め、サービスの妨げになる事もあるので、お元気な方にお話相手をして頂けたら良いのではないのでしょうか。
31	地域限定（区内）の金券によって、少しでもお礼を出す。
32	<ul style="list-style-type: none"> ・外出できずにいる高齢者への話し相手や電話 ・調理等、特技を地域や学校へ出張して講師をする ・町会等を巡回し、悪たく商法防止に協力して頂く
33	訪問看護師としての活用はむずかしいと思われます。施設や傾聴ボランティアなど、ボランティアとしてなら可能と考えます。
34	当センターは現在65歳以上の職員が5名以上働いておりますが、年齢に関係なくその人の能力によってかなり異なってくると思われます。
35	すでに年齢にこだわっている場合ではないです。働く気力があれば、介護人材として活用していかなければならない。危機的状況です。
36	短時間でもして頂ける事は多くある。やって頂く事で”生きがい”にもつながるのでは。
37	長くボランティア活動をしてきた経験から、元気高齢者は自分から何かをとなかなか考えられない（特に女性）。そこで一寸背中を押す（市民活動センター等）ことによってボランティア活動に入れる。
38	重介護などは専門的かつ重労働を要しますが、調理、運転、PCなどの業務など、業務上活躍の場は沢山あると思います。又ボランティアも含め。
39	前面に出ていただくのは厳しいと思います。有償ボランティア的に若干の謝礼を出して、様々な周辺業務を担っていただく。

●元気高齢者の人材活用について（地域の高齢者を介護人材として活かす可能性・方策等）、どのようにお考えですか。

NO	回答内容
40	疾病や認知症に関する知識をきちんと備えた上で、業務に携われるよう、教育できる場として、自治体の係わりを持っていただきたい。
41	送迎運転手として働いていただけたら助かる。
42	介護を希望する高齢者の希望は、自分の息子、娘、孫の年令の方とのふれあいを求めていますので、辞めた方が良いのでは？
43	本人のニーズ、レベルに合う業務。現状の様な、多忙、むづかしい業務では希望も出ない。
44	話し相手などのボランティア
45	稲城市が取り組んでいる「介護支援ボランティア」制度や群馬県のような「介護予防サポーター養成」を行ってほしい。
46	予算措置を講じて、介護に直接的に携わるヘルパー講習、また間接的支援策となるボランティア講習をすぐにも行って下さい。 区の施策ではボランティア、NPO等の育成策が横断的につながっていきません。何なら大泉地区で私達のグループ(大泉地域の医療と福祉を考える会)で区のバックアップのもと、組織化を始めても良いですよ。
47	前期後高齢者については積極的な活用を考えたい。資格の取得や雇用についての支援を具体的に区が示していく必要がある。
48	大いに検討し、システムを作って下さい。
49	清掃や周辺業務などは可能性としてあるが、ケアワーカーとの協調が大切なため柔軟性が必要。
50	①ボランティアとしての活用の場合、継続的にかつ確実に人材として活用できるか疑問がある。 ②賃金を支払うことを前提とした場合、様々な労働法制上の制約もあり、経営上一定の効率性を求めざるをえない。 (そういう意味では70歳くらいまでは既に働いている方は多い。) ③労働性が極めて低い、あるいは労働生産性を気にしない能力活用の具体的アイデアがすぐには浮かびませんが、前項の「区に期待する」部分がこの辺りの仕組み創りではないかと思います。
51	ボランティアとして積極的に関わって頂くことが好ましい。軽易な介護のお手伝い、あるいは話し相手として十分出来ると考えられる。そして、活動の度合いに応じて、自分が必要になった時にそれに応じたサービスを受けられるようなシステムは考えられないか。
52	自宅近辺のお年寄の安否確認。

●元気高齢者の人材活用について（地域の高齢者を介護人材として活かす可能性・方策等）、どのようにお考えですか。

NO	回答内容
53	社会活動への参加を積極的に考えている元気な高齢者は歓迎いたします。
54	可能性は十分あると思うが、具体的にどうしたらよいかは悩むところです。
55	介護補助員として採用しています。
56	<p>3) 専門職として 改正介護福祉士法が施行される。詳細を理解していないが専門職としての能力強化が図られることとなろう。ただ施設について いえば、多くの業務には十分な訓練は必要とするが、かならずしも専門職でなくても可能なものがある。 たとえば、見守り、入浴介助の補助、食事介助など、家庭で通常おこなう世話に類するもので、職務の分化を進めることで質の高い専門業務を行なえるのではないだろうか。これにはご家庭の主婦に協力いただけると良いと考える。 ◎単なるボランティアではなく、例えば、保険者が組織的に募集し、報酬（または一部を）を支払うという積極的な援助を期待したい。</p> <p>4) 元気な高齢者の人材化 どれだけ余裕のある方がおいでか不明だが、積極的に活用したい ◎積極的な募集を、さらにこの場合にも報酬（もしくは将来介護受給のためのプレミアム）を 考えていただきたい。</p>
57	介護予防事業などのお手伝い。 グループホームへの、個別、支援のお手伝い。 元気高齢者の自宅近くの地域サポート。（在宅やグループホームの人も含む）
58	グループホームには軽度の入居者もいらっしゃるので、老人会等に誘っていただけるとありがたいです。
59	当ホームにおいては色々な分野で働いて頂く事は可能だと思います（草木の手入れ、食事作り補助、話し相手、清掃等）。
60	グループホームは身体介護的体力は必要ないが、24時間のローテーションの中で日勤帯8:30~17:30のみが勤務となると、他の時間帯が多くなる人が増える。バランスの関係上1~2名の採用位となる。話し相手、仕事関係の話等、若い世代より内容は豊富。でも老人は若い人が好きです。
61	要支援1→自立になった人がボランティアに来てくれて、本人も張りになり、現場も料理を手伝ったもったり、相手をしてもらったり助かってます。
62	入居者との交流。
63	悪くはない。むしろ良いと思われる。